

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	4 成績評価及び修了認定
中項目	
小項目	4.0.1 成績評価
要素	<p>①学修の成果に係る評価(以下、「成績評価」という。)が、学生の能力及び資質を正確に反映する客観的かつ厳正なものとして行われており、次に掲げるすべての基準を満たしていること。</p> <p>(1)成績評価の基準が設定され、かつ学生に周知されていること。</p> <p>(2)当該成績評価基準にしたがって成績評価が行われていることを確保するための措置がとられていること。</p> <p>(3)成績評価の結果が、必要な関連情報とともに学生に告知されていること。</p> <p>(4)期末試験を実施する場合は、実施方法についても適切な配慮がなされていること。</p> <p>②学生が在籍する会計大学院以外の機関における履修結果をもとに、当該会計大学院における単位を認定する場合は、当該会計大学院としての教育課程の一体性が損なわれていないこと、かつ厳正で客観的な成績評価が確保されていること。</p>
小項目	4.0.2 修了認定及びその要件
要素	<p>会計大学院の修了要件が、専門職大学院設置基準の定めを満たすものであること。この場合において、次に掲げる取扱いをすることができる。</p> <p>ア 教育上有益であるとの観点から、他の大学院において(他専攻を含む)履修した授業科目について修得した単位を、各会計大学院が修了要件として定める30単位以上の単位数の二分の一を超えない範囲で、当該会計大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすこと。</p> <p>イ 教育上有益であるとの観点から、当該会計大学入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位を、アによる単位と合わせて各会計大学院が修了要件として定める30単位以上の単位数の二分の一を超えない範囲で、当該会計大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすこと。</p>

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. GPA分布について、クラスおよび科目間で隔たりがある場合にはその理由を明確にする。	→GPA分布(クラス別平均GPA)	D
2. 修了生の質保証のために、過去の修了生の個人別平均GPAを検討するなどして、一定水準以上のGPAを修了要件にするなどの措置を検討する。	→個人別平均GPA	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

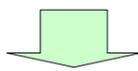
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目4.0.1	(現状説明)成績評価の基準は、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。その基準にしたがって成績評価が行われていることを確保するための措置について、専攻会議で懇談されているものの、さらに具体的な措置が必要と考えられる。成績評価の結果について、学生側から教員に質問ができる制度がある。期末試験の実施方法については、シラバスに明記し、各教員が講義時に伝えている。学生が在籍する会計大学院以外の機関における履修結果をもとに単位を認定する場合、専門の教員が厳正で正確な評価をしている。
☆ 小項目4.0.2	(現状説明)他の大学院において(他専攻を含む)履修した授業科目について修得した単位を、各会計大学院が修了要件として定める20単位を限度として、当該会計大学院における授業科目の履修により修得したものとみなしている。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	



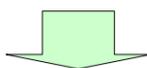
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

- 現状説明の記述はおおむね明確です。
- 目標に対する進捗評価が「D」となっている項目について、改善すべき事項に次年度どのように改善するかの記事を期待します。
- また、2008年に受診した分野別認証評価では、「シラバスでの成績評価にかかる記載が教員によりばらつきがみられる。評価要素の比重の書き方等に関しては、統一することを要望する。」とありますが、この対応状況はいかがでしょう。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- 厳格な成績評価を行うことについては、絶対評価を加味した相対評価による成績評価の導入に関するルールづくりの進捗状況に合わせて進めていく。その際、FD委員会と連携して進めていく。
- また、評価要素の比重の書き方等に関して専攻会議で議論を行う。